

令和4年度 宮代町国民健康保険特別会計予算の概要

宮代町住民課

1. 概要

- (1)令和4年度予算は、歳入歳出総額**38億61万4千円**、対前年比**7.7%の増額**となっている。主な理由は被保険者数は減少するものの、一人当たり医療費の増(330,936円→376,335円)などによるものである。
- (2)歳入では、**国保税が6億5,407万3千円**、対前年比**1,534万2千円**、率で**2.3%の減額**となり、**税込不足を補うための法定外繰入金を8,140万7千円**(前年度より**3,257万5千円**の減額、1人当りの法定外繰入れ**1万5,316円**→**1万1,134円**)の減額となった。また、**県支出金において、県繰入金(2号分)を過去の実績を見込んだことから、6,739万9千円**、対前年比**5,124万6千円**、率で**317.3%の増額**となった。
- (3)歳出では、**保険給付費が27億6,870万6千円**、対前年比**2億8,670万4千円**、率で**11.6%の増額**となった。主な理由は、被保険者数の減少するものの、一人当たりの医療費の増や、令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により医療機関への受診控えがあったことなどにより、医療費の増に繋がるものとしている。
- (4)保健事業では、**特定健康診査予約サービスの導入**し、被保険者の受診しやすい環境づくりを目指すものとする。なお、合わせて、**特定健康診査や特定保健指導では十分な新型コロナウイルス感染予防対策を実施しながら受診率の向上に努める**。

事業内容では、令和3年10月からマイナンバーカードの健康保険証としての利用が本格化され、被保険者の資格確認や医療費が高額になった時に使用する**限度額認定証**の手続きが簡素化された。また、**国保税の見直しの1年延期の方針のもと、新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮しながら令和5年度の税率等の見直しの検討を進める**。

■主な取り組み

★:新規 ◎:拡充 △:見直し

法定外繰入れ(赤字)の解消に向けて

◎国民健康保険税率等の見直しの検討

- 1 法定外繰入金の解消に向けて、県の示す標準保険税率等を参考に、国民健康保険税率等の見直しを検討する。
- 2 令和9年度の保険税の県内統一化を見据えて、令和5・7年度の税率等の見直しを検討する。

宮代町データヘルス計画の推進

★特定健診・特定保健指導の実施率の向上

新型コロナ感染拡大の予防対策を実施しながら、特定健診実施率及び特定保健指導実施率の向上を目指すため、受診しやすい環境づくりを行う。 4,516万3千円

- 1 特定健康診査予約サービスの導入(88万円)
- 2 特定健診実施率目標 57% 特定保健指導実施率目標 54%
※参考 令和2年度特定健診実施率確定値 宮代町42.1% 市町村平均34.9%

◎ジェネリック医薬品の普及・啓発

ジェネリック医薬品の普及・啓発を図り、医療費の適正化に努める。

利用率目標 令和3年度県市町村平均以上(R4.3月値)

※参考 令和3年3月値 市町村平均79.7% 宮代町78.5%

160万6千円

◎重複頻回・服薬対策の推進

同じ病気で複数の医療機関にかかったり、同じ薬を服用している被保険者に保健師などの専門職による健康相談を実施し、適切な治療につなげる。

抽出基準を拡大した新基準により、健康相談対象者を増やす。

※目標 行動変容割合(相談前と相談後で行動の変化があった割合)が対象者の20%以上

◎特定健康診査データの活用

- 1 令和3年10月からのマイナンバーカードの被保険者証本格的利用の開始に伴い、特定健康診査のデータがスマートフォンや全国の医療機関、各保険者で閲覧が可能となっている。
- 2 特定健康診査のデータが閲覧が可能になることで被保険者の健康づくりや医療機関での適切な診療に繋がることが期待される。
更なる、マイナンバーカードの普及促進が望まれる。